

本に親しむ環境づくりの推進

呉市立長迫小学校

本校では、児童がより本に親しむことができるように、次のような取組を行っています。

① 読み語りボランティア「めっきらもっきら」による読み語り

本校では、月に2回、「めっきらもっきら」という地域の読み語りボランティアの皆様にお越しいただき、朝の読書タイムに絵本の読み語りをしていただいています。様々な種類の絵本を読んでいただく中で、児童の興味の幅が広がり、シリーズものであれば自分でも続きを借りて読んでみようという気持ちが芽生えるなど、本に親しむきっかけになっています。児童は、毎回どのような絵本に出会うことができるのか、とても楽しみにしています。



どんな本に出会えるのか、とても楽しみです。



「図書室内の絵本紹介コーナー」



「本の紹介コーナー」
読んでいただいた本を紹介しています。

② 教職員による読み語り

月に1回、朝の読書タイムに教職員による読み語りを行っています。自分のクラスの担任以外の様々な教職員が、毎回交代しながら読み語りをしています。普段は関わる機会が少ない教職員が自分たちの教室に来て読み語りをしてくれるということで、児童は「今回はどんな先生が来てくれるのかな。」とワクワクしながら待っており、毎回とても熱心に聞いています。



「教職員の読み語り」
読み語りの後に、絵本について感想を伝え合います。



「教職員の読み語り」
児童は熱心に聞いています。

③ 学校司書による掲示

学校司書は、図書室の前や校長室の前の廊下に、本の紹介をはじめ、季節に合った飾りや絵探し等、児童がワクワクするような掲示をしています。また、休み時にはハロウィンの飾りやクリスマスカード等、図書室で楽しむことができる工作も企画しています。

児童がわくわくした気持ちで図書室を利用し、本に親しむことができるように様々な取組をしています。



「図書室前の掲示」
季節の飾り等、ワクワクするような掲示がされています。



「クリスマスカード作り」
色画用紙を切り貼りして、児童と一緒に飾りを作ります。



「校長室前の本の紹介コーナー」
校長室前にも、季節の行事等に合わせて本の紹介をします。

④ 学校図書のバーコード化

今年度本校は、創立100周年を迎えました。そこでPTAから図書のバーコード化システムを寄贈していただきました。バーコード化に当たっては学校司書や読み語りボランティアの皆様が作業に当たりました。約7000冊の図書すべてにバーコードを作成し、貼り付けていただきました。バーコード化を行うことで、貸出や返却の作業が効率化され、より多くの児童が本を借りることができるようになりました。また、読みたい本を検索して貸し出し状況を確認する等、自分が読みたい本を見つけることも効率的にできるようになりました。



「バーコード化作業の様子」



「学校図書のバーコード化」
バーコード化の作業をしてくださった方々へお礼を述べます。



「貸し出し」
学校司書や子ども司書、図書委員が本の貸し出しを行います。